



ご存じですか？



今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率 千葉市が最も高い**85%**

(地震調査委員会 平成31年1月発表)

阪神淡路大震災や東日本大震災で発生した火災の
6割以上が電気に起因する火災とされています。



地震による火災には 「地震発生直後の火災」と「通電火災」があります！

地震発生直後の火災

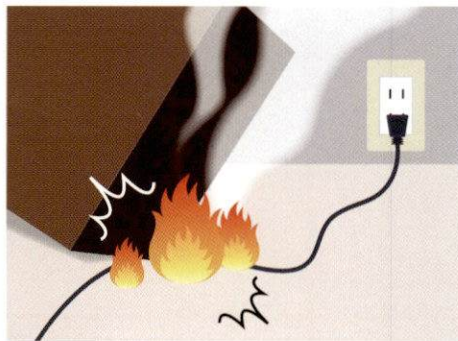
電気器具が転倒し、可燃物と接触する
などして起こる。



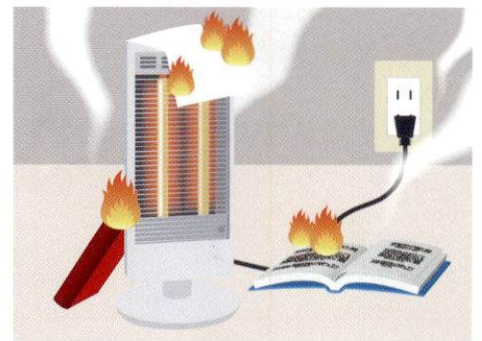
◆地震発生時の電気火災例
重い物が倒れて、壊れた電気製品から発火

通電火災

停電が発生し、その後電気が復旧した際、可燃物が落下した電気ストーブや破損
した電源コードなどに再び電気が通ることが原因で火災が起こる現象。



◆地震による電気火災例
電源コードの被膜が破れて短絡(ショート)に
より発火



◆復電時の電気火災例
復電後、電気製品に落下した可燃物から発火

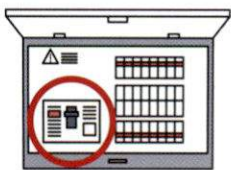
地震による電気火災対策には、 感震ブレーカー等が効果的です。



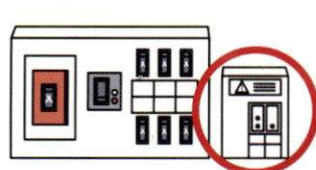
感震 ブレーカー等 とは..

「感震ブレーカー等」は、設定値以上の揺れを感知し
たときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的
に止める器具です。

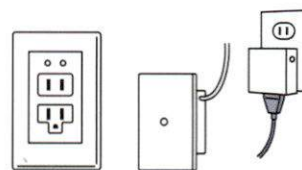
主な
感震ブレーカー
の種類



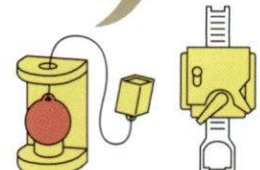
分電盤タイプ (内蔵型)



分電盤タイプ (後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ

電気火災から、家・地域を守りましょう